

# ホームスクーリングについての考察

## —コンベンションへのご招待—

ジェラルド&ベバリー・ヒューブナー

チア・コンベンションで皆さんとお会いできることを、私たちはとても楽しみにしています。私たちが住むカナダ中部も、雪解けが進み、間もなく春がやって来ます。今年は、寒い日が多い長い冬でしたので、春が待ち遠しいです。

最近、私たちは自らのホームスクーリングの旅路について深く思い巡らしています。ホームスクーリングに関する書籍を初めて読んだ時のこと、そしてこの新しいムーブメントの可能性を探るため、初めてホームスクーリング・セミナーに出席したことが、まるで昨日のこのように思い出されます。

私たちが30年前にホームスクーリングを始めた時、近隣はもちろんのこと、在住している州を見渡してもホームスクーラーはほとんどいませんでした。しかし今、ホームスクーリング・ムーブメントは著しい成長と拡大を見えています。

私たちがホームスクーリングを始めた当時、州内でコンベンションはありませんでしたから、カナダからアメリカまで10時間の旅をして参加しました。しかし、それ以降30年間、私たちは毎年この地域でコンベンションを開催し、1300人以上が参加するまでに成長しています。40人以上のホームスクーリング卒業生とその親が、「あなたにもできます」とお勧めする姿を見ることは、大きな励ましとなってきました。

自分たちの経験からも言えることですが、ホームスクーリング・コンベンションに参加することには、かなりの時間と費用を要します。旅費や、家族にとって必要なことを手配するとなると、圧倒されてしまうかもしれません。また、「行くことに価値があるのか」と疑問に思うこともあるでしょう。しかし、時間とお金を投資するな



ら、配当もあるものです。皆さんはホームスクーリングのコンベンションに何を期待されていますか。私たちの経験から言えば、次のことを期待できます。

チャレンジを受けるために：私たちは親として、ホームスクーリングという大きなビジョンに挑戦し、チャレンジを受けています。子どもたちが「世界を変える人物」になり、指導者となり、キリストに従う者になる準備をしているのです。

励ましを受けるために：私たち夫婦はコンベンションに参加した時、いつも励ましを受けて帰ることができました。特に、このホームスクーリングという旅路を歩いているのは自分たちだけではない、と気付くことは大きかったです。私たちも今回のチア・コンベンションを通して、私たちがホームスクーリングで経験した「喜び」

を分かち合えることを楽しみにしています。

装備するために：ホームスクーリングでは、子どもたちに読み書きを教えるツールやスキルが必要になってきます。コンベンションでは、子どもたちの将来に備えるために、教えるためのスキルや教材、そのヒントが揃っています。

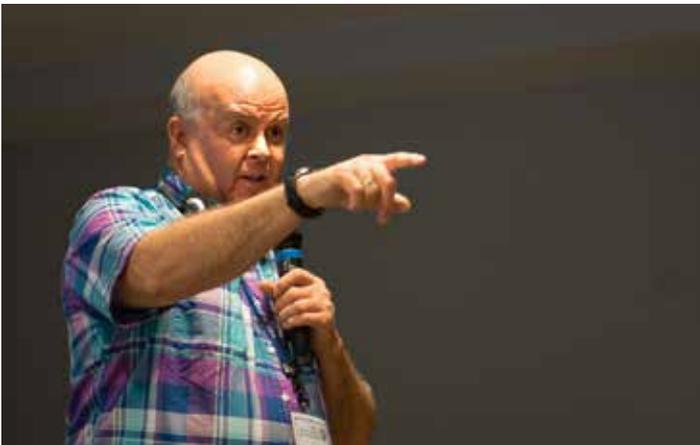
つながるために：ホームスクーリングは簡単なことではありません。もし、自分たち家族だけでホームスクーリングをしようとするなら、それは「本当に困難」ものとなるでしょう。コンベンションという場は、全国で同じ志を持った親同士をつなげる意味合いもあります。年間を通して励ましやチャレンジ、サポートを授けてくれる、その源泉とも言えるのがコンベンションです。皆さんも、

他のホームスクーラーとつながるために、ぜひチア・コンベンションに来てください。

私たちは、ホームスクーリングを実践した親として、また今は卒業し、祖父母という立場からホームスクーリングを支援する者として、皆さんがコンベンションに参加することを心からお勧めします。私（ジェラルド）は、特に父親の皆さんがコンベンションに参加することを強くお勧めします。父親の皆さんからは、「私に一体何ができますか。仕事があつて忙しいのです」とよく言われますが、だからこそ父親の皆さんが参加することは重要なことなのです。父親が参加することで家族は大いに励まされ、サポートを感じます。皆さんが時間を投資することは重要なことであり、家族にとって永遠の利益につながっていくでしょう。

## クリスチャンのホームスクーリングとは？

ジェラルド・ヒューブナー



私たちはよく「子どもがクリスチャンになるように育てる」という言い方をします。ただ単に子育てをすることが目的ではなく、大人へと成長させていくことが目標です。私たちのゴールは、子どもたちが大人になった時、キリストの弟子となっていることです。彼らが、主の光を輝かせ、神の御国を前進させていくことを目指しています。

ホームスクーリングは、皆さんの家族らしく生きるための一つの方法であり、聖書にしっかり焦

点を当てながら、子どもの教育を親が管理していくことができます。

では、なぜホームスクーリングをするのでしょうか。我が家の理由は、永遠の目標を達成するためです。すなわち、「ご自身（御子）がすべてのことにおいて、第一のものとなられる」ためです（コロサイ1・18）。

1. クリスチャン教育は、クリスチャンにとって選択ではなく、命令です。「聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。これをしるしとしてあなたの手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい」（申命6・4～9）

2. 家庭でクリスチャン教育を実施することには、意識的な決断が必要です。「……私と私の家とは、主に仕える」(ヨシユア 24・15)

3. 私たちは自分たちが「一人ではない」ことを知る必要があります。神が私たちと共におられるのです！ 主は「私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方」(エペソ 3・20)です。私たちは、自分の力で何とかしようとする罠に陥ってはいけません。神で自身が私たちを通して働いてくださることが必要です。「主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし……」(詩篇 127・1)

4. 教育は神とのパートナーシップの中で行われるものです。ルツ・ヴォーンが次のように語った通りです。「あなたは、鉄を成形したり、大理石を彫ったりしているわけではありません。宇宙の創造主と共に、人格を形成し、将来の人生を切り拓いていく作業に取り組んでいるのです」

5. 世の中の教育の定義に左右されるのはやめま



しょう。そうではなく、主の教育と訓戒によって育てていきましょう (エペソ 6・4)。

CSルイスが述べました。「キリストを抜き去り、主を恐れない教育は、賢い悪魔をつくることになる」

皆さん、ぜひ、チャ・コンベンション会場でお会いしましょう！

## 楽しく学習する ベバリー・ヒューブナー

神は、私たち人間が周りの世界に関心を持つように創造されました。子どもが、目の前のあらゆる事象を探ってみようとする姿を考えてみてください。若者というのは常に何かを知りたがり、大人が答えるのに飽き飽きするほど「なぜ？ どうして？」と質問攻めにするものです。そのような子どもたちの好奇心を、私たち大人はカリキュラムや教科書で抑えつけてしまい、長時間、机に縛り付けてはいないでしょうか。私たちホームスクーラーは、神が子どもたちに与えられた好奇心を存分に行使できるようにすべきではないか、と私は思うのです。

多くの人は、耳から聞いたことの 20%、目で

